

後免駅北駐輪場整備工事

建 築 図						電気設備図	
A-01	特記仕様書(建築工事編) (1)	A-06	面積表	A-11	解体撤去 配置図・リスト	E-01	特記仕様書
A-02	特記仕様書(建築工事編) (2)	A-07	立面図・断面図	A-12	仮設計画図	E-02	機器指定表
A-03	特記仕様書(建築工事編) (3)	A-08	屋根伏図	A-13	地盤調査結果 (1)	E-03	工事概要・付近見取図・配置図・平面図
A-04	特記仕様書(建築工事編) (4)	A-09	基礎伏図、基礎詳細図	A-14	地盤調査結果 (2)	E-04	電灯 平面図
A-05	工事概要・付近見取図・配置図・平面図	A-10	外構配置図・外構リスト				

後 免 駅 北 駐 輪 場 整 備 工 事	建 築 図	表紙・目録	scale no、scale (A3 : 70% 縮小)	drawn by	date	一級建築士事務所登録 第1056号 一級建築士登録 第 2 4 3 8 1 9 号 岩 貞 憲 明	イ ズ i S 設 計 事 務 所 OFFICE/南国市東崎884番地 TEL 089-264-6642	sheet no.
-----------------------	-------	-------	--------------------------------------	----------	------	---	---	-----------

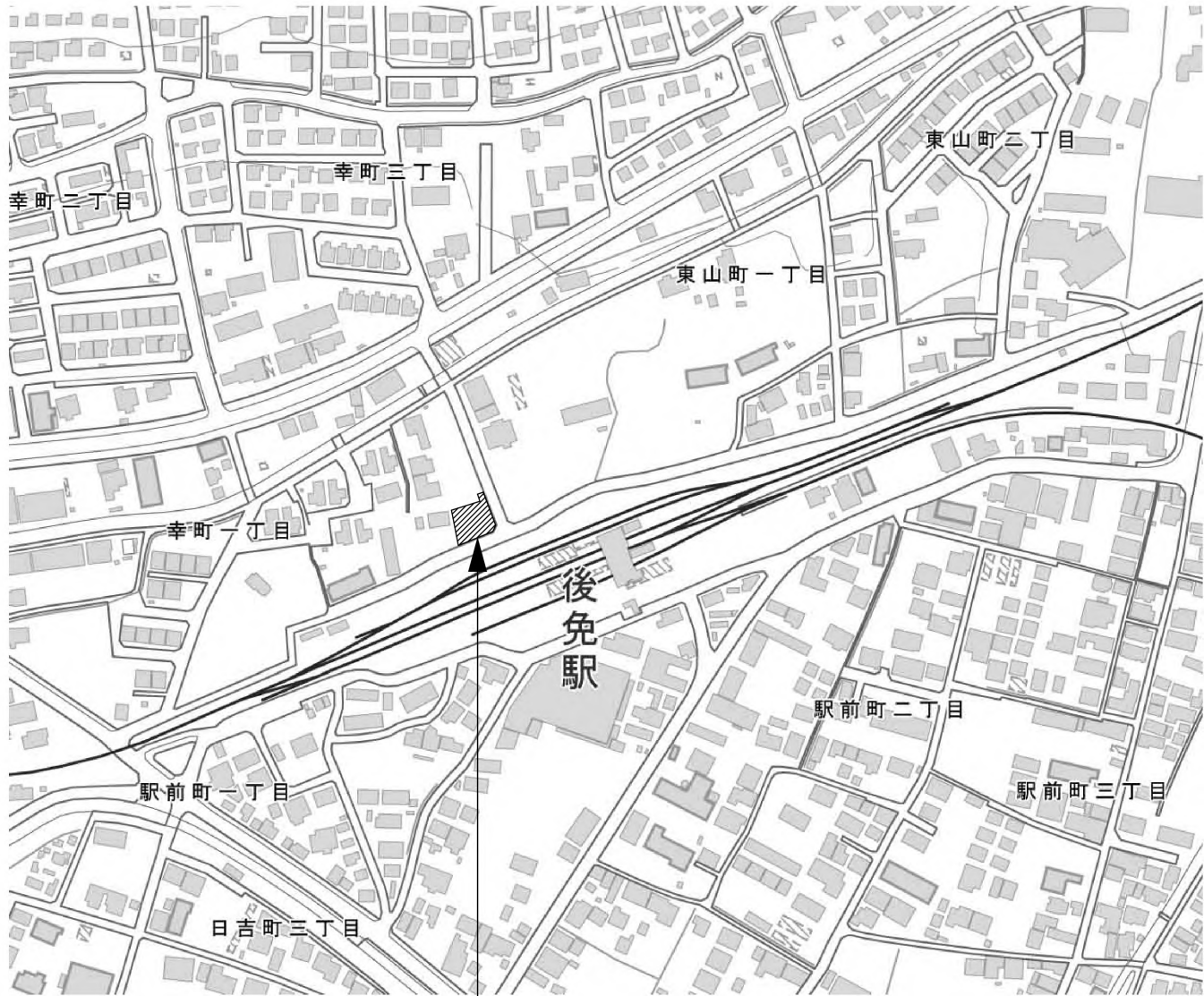
特記仕様書（建築工事編）			・技能士		
I 工事概要	1. 工事場所 高知県南国市幸町一丁目541番2、541番8、542番1（都市計画区域（内）・外）				
2. 敷地面積	409.89 m ²				
3. 構造・規模	アルミ押出形材造平屋 階				
4. 建築面積	72.70 m ²	5. 延床面積	142.31 m ²		
6. 主要用途	駐輪場				
II 建築工事仕様					
1. 共通仕様	（1） 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という）による。 （2） 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（E-01）図、機械設備工事の工事仕様書は（ ）図による。 （3） 受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。 2. 特記仕様 （1） 項目は、○印の付いたものを適用する。 （2） 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 （3） 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 （4） 特記事項に記載の（別図 - ）は、標準仕様書の「別図 各部配筋」の当該項目を示す。 （5） [G] 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。 （6） 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）の規定を優先する。				
1 各章共通事項	○適用基準及び区分	※ 建築工事監理指針（上下巻） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ※ 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ※ 鉄骨設計標準図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 ・ 鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会 ※ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編） ※ 建設副産物適正処理推進要綱 ※ 建築材料等評価名簿 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 ※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修			
・電気保安技術者		・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。 区分等 基準風速 Vo＝（ 38 ）m/s 地表面粗度区分（Ⅰ Ⅱ ○Ⅲ Ⅳ） 積雪区分 建設省告示第1455号 別表（ ）			
○施工条件	施工時間帯 ※指定なし ・指定有り（ ） 部位別の施工順序 ※指定なし ・指定有り（ ）	(1.3.3) (1.3.5)			
○発生材の処理	・引き渡しを要するもの（ ） ・特定管理産業廃棄物（種類： 処理方法： ） ・現場において再利用を図るもの（ ） ○再生資源化を図るもの（ ・コンクリート塊 ○アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材） ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。	(1.3.11)			
・石綿含有建材の処理等	大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に基づき、事前調査、報告を行った上で、適切に処理すること。 工事発注前の調査の情報提供 ・有り ・無し				
○材料の品質等	(1.4.2) 本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS 又は JAS マーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）から6）の事項を満たすものとする。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3）安定的な供給が可能であること。 4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6）販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受けること。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について（通知）」による証明書等を、監督職員に提出する。				
・特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。				
○施工図及び施工計画書	提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものと				
			○完成時の提出図書		
			・室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策		
			・室内空気中の化学物質の濃度測定		

		(1.5.2)	
工事種目	技能検定職種	技能検定作業	
仮設工事	とび	・とび作業	
鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業	
コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業	
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業	
鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業	
	とび	・とび作業	
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業	
	ALCパネル施工	・ALCパネル工事作業	
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタン系系塗膜防水工事作業 ・アクリル系系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改質アスファルトシート施工工法防水工事作業 ・改質アスファルトシート常温接着工法防水工事作業	
	石工事	石材施工	・石張り作業
	タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業
	木工事	建築大工	・大工工事作業
		枠組壁建築	・枠組壁工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業	
	かわらぶき	・かわらぶき作業	
金属工事	内装仕上施工 建築板金	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業	
左官工事	左官	・左官作業	
建具工事	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業	
	ガラス施工	・ガラス工事作業	
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業	
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業	
	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業	
	ガラス施工	・ガラス工事作業	
塗装工事	塗装	・建築塗装作業	
	内装工事	内装仕上施工	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・化粧フィルム工事作業 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業
熱絶縁施工		・壁装作業	
表装		・建築配管作業	
排水工事	配管	・溶解ペイントマーカ工事作業 ・加熱ペイントマシナーカ工事作業	
舗装工事	路面表示施工		
植栽工事	造園	・造園工事作業	
(1.7.1)			
※完成図（配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表）CADデータ（CD-R）とも記入内容は標準仕様書表1.7.1による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。 ※施工計画書（A4ファイル綴じ 提出部数：1部） ※施工図（CADデータ 提出部数：1部） ※保全に関する資料（提出部数 ※1部 ・部） ※工事写真・完成写真 写真データ（CD-R）とも			
区 分		分類規格	提出部数 部 数
着工前及び工事中	カラー ※サービス版	工程毎	1部
	カラー ※キャビネ版	枚	部
完成時	カラー ・全紙版（700円超緑入）	枚	部
	・	枚	部
工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。 デジタル写真の仕様は1 適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。 ※上記の他、完成写真内外6面程度（カラーサービス版）、及びその画像データを完成検査時に1部提出する。 ※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。			
※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物（VOC）の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。			
対象建築材料等		使用制限	
①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルイナート、ウレタン樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材		F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする	
②塗料		ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロルピリリス、ダクタリノ、フェノールを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する	
③木材保存剤（防霉処理、防蟻処理等）		1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする 2）フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする	
④内装用接着剤、木工用接着剤		①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する	
⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台			
室内に関わる材料（上記②～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、クロルピリリス、ダクタリノ、フェノール等の有無または成分について一覧表を作成し提出すること。			
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼンの濃度を測定し、報告すること 測定対象室及び測定箇所数 ※図示（仕上表備考欄） ・（ ）か所			
・室内空気中の化学物質の濃度測定			

○設備工事との取り合い		設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。	
		区 分	
		梁貫通部の補強	
		※本工事 ・別途工事	
		梁貫通部のスリーブ	
		・本工事 ※別途工事	
		自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ	
		※本工事 ・別途工事	
		天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強	
		※本工事 ・別途工事	
		軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地	
		・本工事 ※別途工事	
		埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠 補強
		※本工事 ・別途工事	
		照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート	
		・本工事 ※別途工事	
		電気室、自家発電室などのビット（蓋含む）	
		※本工事 ・別途工事	
○設計GL		※図示	
・足場その他		(2.2.4)	
		「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	
		外部足場に設ける防護シート等 ・養生シート※JISA8952のⅠ類に適合するもの （建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの） ・防音シート ・探光防音シート ・養生ネット	
○監督職員事務所等		・設ける 規模及び仕上げるの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は (2.3.1) 現場説明書（施工条件明示）による。	
		※設けない	
・工事用水		構内既存の施設 ・利用できる（ ※有償 ・無償） ・利用できない	
○工事用電力		構内既存の施設 ○利用できる（ ※有償 ・無償） ・利用できない	
○埋戻し及び盛土		(3.2.3) (表3.2.1)	
		材料及び工法 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G] C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書（施工条件明示）による。 D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書（施工条件明示）による。	
○建設発生土の処理		(3.2.5)	
		※構外搬出 搬出先の名称（ ） 所在地 （ ） 運搬距離（ ）km その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。 搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ・構内指定場所に敷き均し ・構内指定場所に堆積	
○騒音振動の防止		低騒音型 低振動型建設機械指定に基づき指定された建設機械を使用する。	
○支持地盤等		(4.2.1) (4.3.4、5) (4.5.5、6)	
		・杭基礎 支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む） ・（ ） ・図示	
		○直接基礎 支持層の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ・（ ） ○図示 試験掘り（根切り底の状態の確認等） ・行わない ・行う 位置等 ・図示	
		・地盤の載荷試験 載荷試験の方法等 ・図示	
・既製コンクリート杭地業		(4.3.3)	
		種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490	
		寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分） (4.2.2) (4.3.3)	
		種類	コンクリート強度 (N/mm ²)
		鋼管厚 (mm)	杭径 (mm)
		杭長 (m)	継手数
		セツト数	長期設計支持力 (kN/本)
		備 考	
試験杭		上杭 中杭 下杭	
本杭		上杭 中杭 下杭	
特記仕様書（建築工事編）（1）		令和4年度版 高知県土木部建築課	
令和7年9月		i S 設 計 事 務 所	
後免駅北駐輪場整備工事		一級建築士事務所登録 第1056号 一級建築士登録 第243819号 岩 井 憲 明	
令和5年7月改正		A-01	

鉄筋工事	○鉄筋	鉄筋の種類等 (5.2.1)			・溶接継手	適用箇所 (5.6.3)	・マスコンクリート	適用箇所 (6.2.1) (6.13.1)					
	種類の記号		呼び径 (mm)					備考		・図示による () ・			
	○SD295		※D16以下							セメントの種類 (6.13.2)			
	・SD345		※D19以上							・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント			
	・									・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 G			
	・									・普通ポルトランドセメント ・ (6.13.2)			
										混和材料			
										・混和剤			
										混和剤の種類			
										※JIS A 6204に適合するAE減水剤又は高性能AE減水剤 ・			
・溶接金網	鉄線の形状等 (5.2.2)			○コンクリートの種類等	溶接継手の工法 (5.6.3)	鉄筋相互のあき (5.6.3)	スランブ (6.13.2)	コンクリートの種類 (6.2.1) (6.14.1)					
種類		種類の記号						網目寸法、鉄線の径 (mm)		使用部位		※普通コンクリート	
・溶接金網												セメントの種類 (6.3.1)	
・鉄筋格子												※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種	
												・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 G	
												設計基準強度 (6.14.1)	
												スランブ (6.14.1)	
												※15cm又は18cm ・	
												適用箇所 (6.14.1)	
												・標準仕様書 6.14.1(4) (7)～(カ)による	
○鉄筋の継手及び定着	鉄筋の継手の方法等 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3)			6コンクリート	溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3)	不合格となった継手部への措置 (5.6.3)	・無筋コンクリート	適用箇所 (6.2.1) (6.15.1)					
部 位		継手の方法						呼び径 (mm)		コンクリートの種類 (6.2.1)			
柱及び梁主筋		※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手						※D19以上		Ⅰ 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)			
耐力壁の鉄筋		※重ね継手								Ⅱ 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)			
基礎、耐圧スラブ、土圧壁		・重ね継手 ・ガス圧接								種 類 (6.3.1)			
上記以外 ()		※重ね継手								※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種			
										適用箇所(※下記以外全て ())			
										普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする			
										高炉セメントB種 G			
										適用箇所(・1FLより下部 (立上り部含む) ・)			
○鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	鉄筋の定着長さ (5.3.4)			○コンクリートの種類	構造体強度補正值 (6.3.2)	・圧接完了後の試験 (5.4.10) (5.4.11)	○セメント	目地の寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)					
最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)		(5.3.5)						構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による		標準仕様書 9.7.3(1) (7)～(カ)による			
・図示								・図示		※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する			
										・図示による () ・			
										ひび割れ誘発目地の位置 (6.8.1)			
										・図示による ()			
										合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.8.2)			
										種 別 適用箇所			
										・A種 ※図示による ()			
										・B種 ※図示による ()			
○各部配筋	各部配筋 (5.3.7)			○骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)	・圧接完了後の試験 (5.4.10) (5.4.11)	○混和材料	コンクリートの仕上り (6.2.5) (6.8.2)					
構造関係共通図 (配筋標準図) による		(5.3.7)						構造関係共通図 (配筋標準図) による		種 別 適用箇所			
・図示								・図示		○a種 ※図示による ()			
・ ()								・ ()		・b種 ※図示による ()			
										・c種 ※図示による ()			
・圧接完了後の試験	外観試験 (5.4.10) (5.4.11)			○気乾単位容積質量	普通コンクリート (6.2.3)	・圧接完了後の試験 (5.4.10) (5.4.11)	○混和剤 (6.3.1、2)	打増し厚さ (6.8.1)					
※行う (全数)								※2.3t/m ³ 程度		・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) (6.8.1)			
								軽量コンクリート		・20mm ・ ()			
										・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)			
										・10mm ・20mm ・ ()			
										・外装タイル後張り面のの打増し処理			
										・20mm ・ ()			
										打増し範囲			
										・図示による ()			
・機械式継手	適用箇所 (5.5.2)			・軽量コンクリート	種 別 (6.10.1)	・寒中コンクリート	○骨材	特記仕様書 (建築工事編) (3)					
・図示による () ・								・1種 ・2種		令和 7 年 9 月			
H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.2)								適用箇所		i S 設 計 事 務 所			
・A級 ・								・図示 ・ ()		一級建築士事務所登録 第1056号			
機械式継手の種類 (5.5.2)										一級建築士登録 第243819号			
・図示による () ・										岩 貞 憲 明			
鉄筋相互のあき (5.3.5) (5.5.2)													
・図示による () ・													
施工完了後の継手部の試験 (5.5.2)													
・図示による ()													
不合格となった継手部への措置 (5.5.2)				・暑中コンクリート	構造体強度補正值 ※6N/mm ² ・ (6.12.1、2)	・暑中コンクリート	○骨材	令和 5 年 7 月改正					
・図示による ()										A-03			

左官工事	22	舗装工事	○型枠	せき板の材料及び厚さ ○合板(※12mm・ G ・()) ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所・図示による()・() ・M C R工法用シート 適用箇所・図示による()・() 打増し厚さ・20mm・() 打増し範囲・図示による()・() スリーブの材種・規格等 ・図示による()・() (6.8.2)	○カラー舗装																										
			○コンクリートの単位水量測定	実施要領 構造関係共通図(構造関係共通事項) 構－4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による	カラー舗装の構成及び厚さ (22.6.2～4) <table><tr><th colspan="2">舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">※加熱系</td><td rowspan="2">※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td><td>車路及び駐車場</td><td>・図示・()</td><td>・図示○50</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・図示・()</td><td>・図示・30</td></tr><tr><td rowspan="2">※常温系</td><td rowspan="2">・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</td><td></td><td>・ニート工法</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・塗布工法</td><td></td></tr></table> 加熱系混合物に添加する材料・着色骨材・自然石 配 合 加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 () ニート工法及び塗布工法の配合等 () 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度・() 加熱系アスファルト混合物の抽出試験・行う・行わない	舗装の種類		部位	構成	厚さ(mm)	※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示・()	・図示○50	歩行者用通路	・図示・()	・図示・30	※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法			・塗布工法						
舗装の種類		部位	構成	厚さ(mm)																											
※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示・()	・図示○50																											
		歩行者用通路	・図示・()	・図示・30																											
※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法																												
			・塗布工法																												
ユニット及びその他の工事	20	○フェンス	○モルタル塗り	モルタル・現場調査材料・既調査材料 既製目地材・使用する(施工箇所:形状:) 床の目地・設ける(工法※押し目地・) 目地割り※2m程度(最大目地間隔3m程度)・() 下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験・行う (15.3.2、5)	○カラー舗装																										
			○床コンクリート直均し仕上げ	下表以外は表6.2.5及び15.4.2による (15.4.2)(表6.2.5) <table><tr><th>施工箇所</th><th>平たんさ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・フリアクセス7(支柱調整式)範囲</td><td>・1mにつき10以下</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table>		施工箇所	平たんさ(mm)	備 考	・フリアクセス7(支柱調整式)範囲	・1mにつき10以下		・	・		・	・															
施工箇所	平たんさ(mm)	備 考																													
・フリアクセス7(支柱調整式)範囲	・1mにつき10以下																														
・	・																														
・	・																														
排水工事	21	○屋外雨水排水	・仕上げ塗材仕上げ	内装仕上に用いる塗料のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。 (15.6.2)	○カラー舗装																										
			○駐輪場	四国化成 サイクルポート VF-R同等品 Vo=42m/s 900N/m ² オープンタイプ アルミ押出形材屋根 標準高 埋込柱 サイクルストッパー(アンカー式H300xW1500) 人感センサー LED照明 雨樋用落ち葉ネット付 Y合掌タイプ 6連棟x1、5連棟x1、基本タイプ(単棟)x1																											
排水工事	21	○屋外雨水排水	排水管用材料 (21.2.1、2)(表21.2.1、2) <table><tr><th>材 種</th><th>記号・種類</th><th>形 状</th><th>呼び径</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td><td>※外圧管(1種)</td><td>・B形管・</td><td>※図示</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">○硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>・RF-VP G </td><td>・</td><td>・</td><td>屋内</td></tr><tr><td>○VP</td><td></td><td>※図示</td><td></td></tr><tr><td>・RS-VU G </td><td></td><td>※図示</td><td></td></tr><tr><td>・VU</td><td></td><td>※図示</td><td></td></tr></table> 基床の厚さ及び種類・()・図示 砂地業に用いる材料・シルト・山砂・川砂・砕砂 砂利地業に用いる材料・再生クラッシャラン G ・切込砂利・切込砕石 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤・() 現場打ちコンクリート ※設計基準強度18N/mm ² S-15・() 現場打ちの場合の鉄筋の種類 ※SD295・() 現場打ちの場合の足掛け金物 ※標準仕様書21.2.2(6)(オ) 材質・ステンレス製・銅製・合成樹脂被膜加工されたもの 側塊の形状及び寸法・()・図示 排水柵、ふたの種類・()・図示 凍上抑制層に用いる材料 () 砂の粒度試験・行う・行わない	材 種	記号・種類	形 状	呼び径	備 考	・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(1種)	・B形管・	※図示		○硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP G	・	・	屋内	○VP		※図示		・RS-VU G		※図示		・VU		※図示		○カラー舗装
			材 種	記号・種類	形 状	呼び径	備 考																								
・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(1種)	・B形管・	※図示																												
○硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP G	・	・	屋内																											
	○VP		※図示																												
	・RS-VU G		※図示																												
	・VU		※図示																												
○カラー舗装	カラー舗装の構成及び厚さ (22.6.2～4) <table><tr><th colspan="2">舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">※加熱系</td><td rowspan="2">※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td><td>車路及び駐車場</td><td>・図示・()</td><td>・図示○50</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・図示・()</td><td>・図示・30</td></tr><tr><td rowspan="2">※常温系</td><td rowspan="2">・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</td><td></td><td>・ニート工法</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・塗布工法</td><td></td></tr></table> 加熱系混合物に添加する材料・着色骨材・自然石 配 合 加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 () ニート工法及び塗布工法の配合等 () 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度・() 加熱系アスファルト混合物の抽出試験・行う・行わない	舗装の種類		部位	構成	厚さ(mm)	※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示・()	・図示○50	歩行者用通路	・図示・()	・図示・30	※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法			・塗布工法										
舗装の種類		部位	構成	厚さ(mm)																											
※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示・()	・図示○50																											
		歩行者用通路	・図示・()	・図示・30																											
※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装		・ニート工法																												
			・塗布工法																												

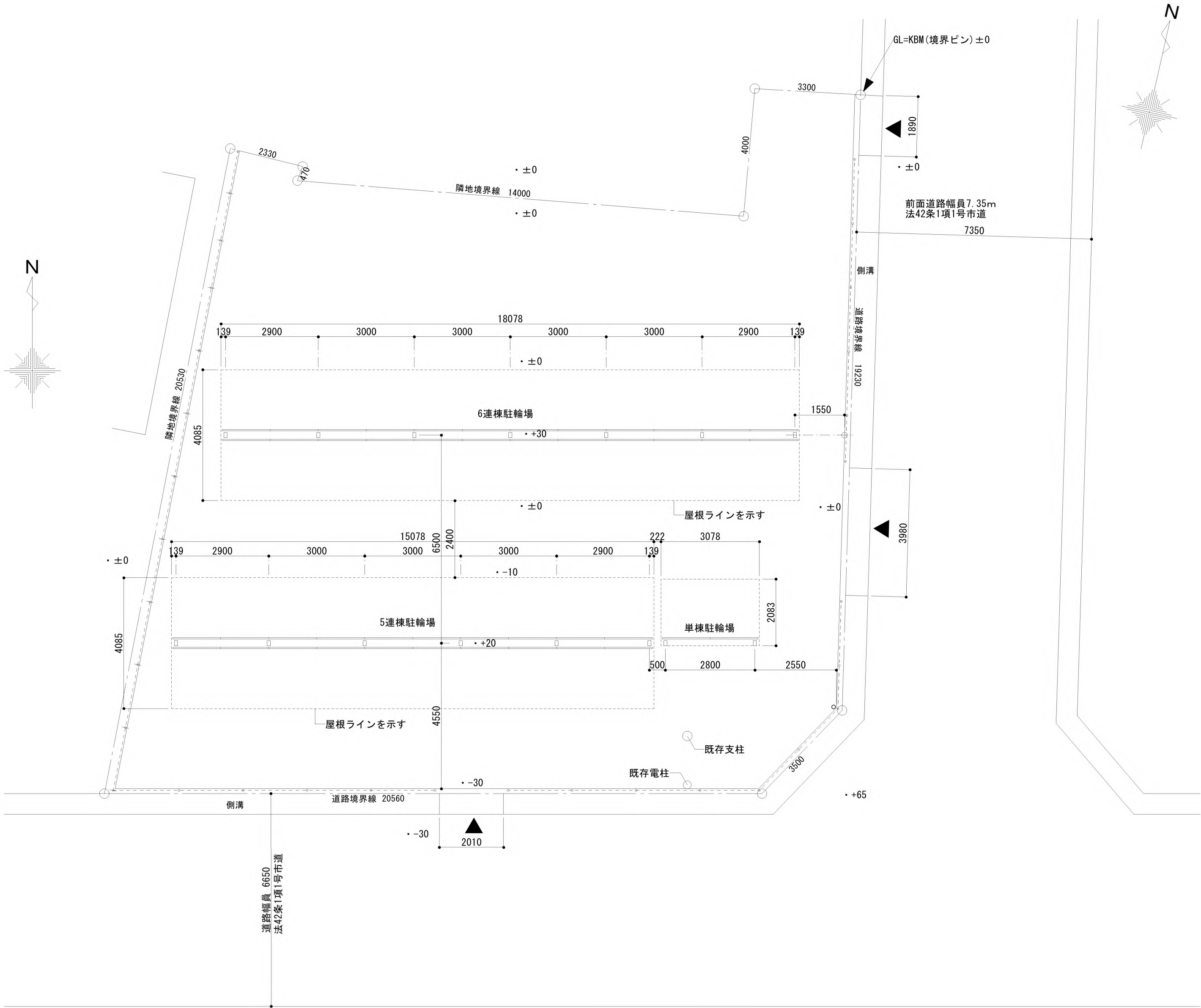


建築場所：高知県南国市幸町一丁目541番2、541番8、542番1

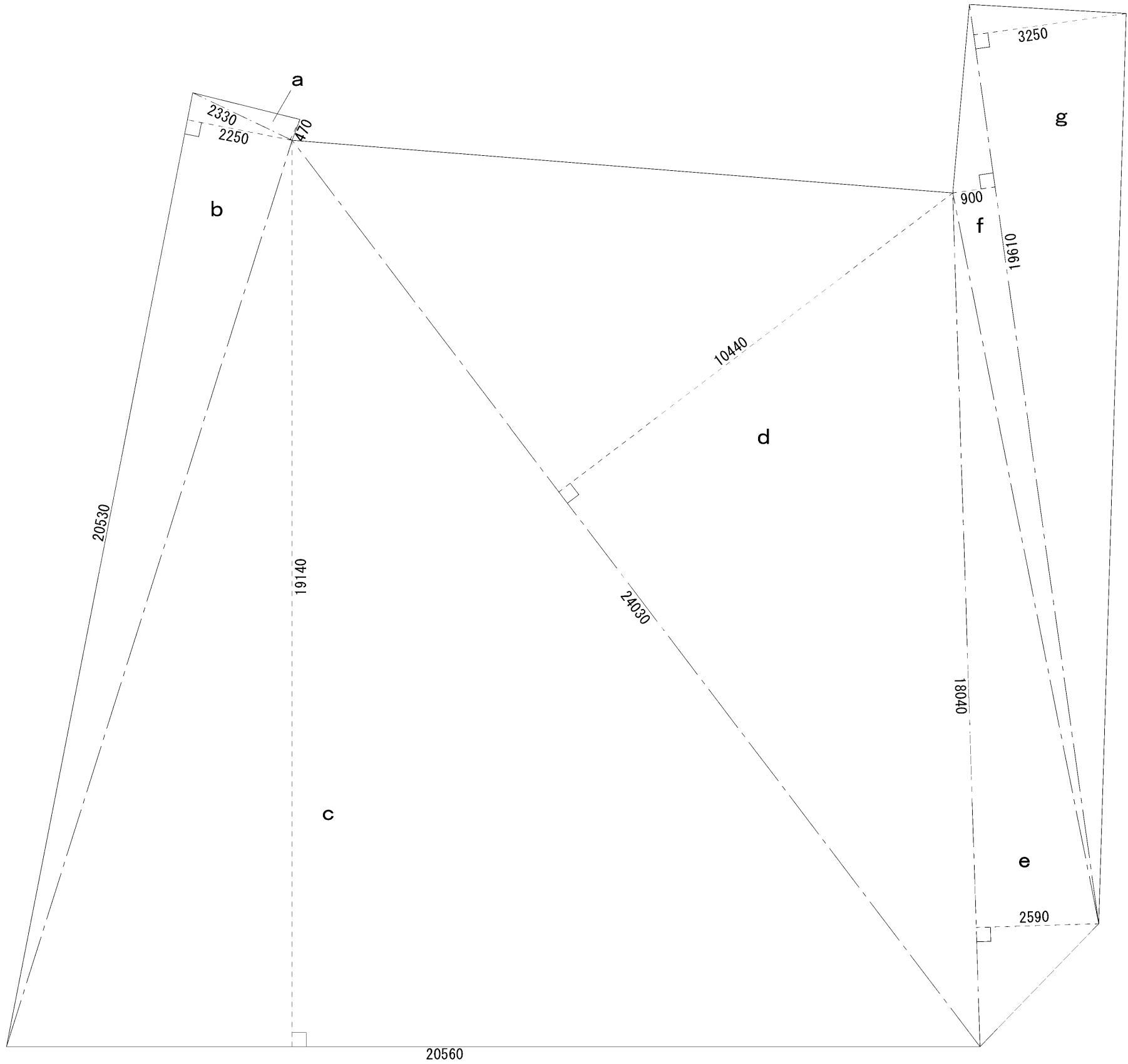
付近見取図

■ 工事概要

- ・アルミ製平屋建ての駐輪場(延床面積142.31㎡)の新築工事
- ・上記工事に伴う解体撤去工事、外構工事、電気設備工事



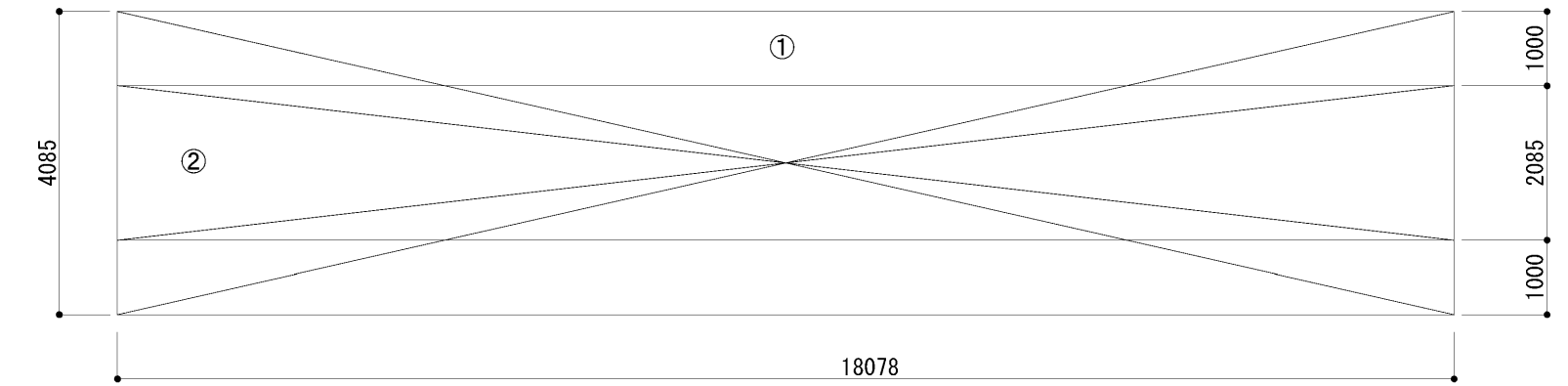
配置図・平面図 1 : 100



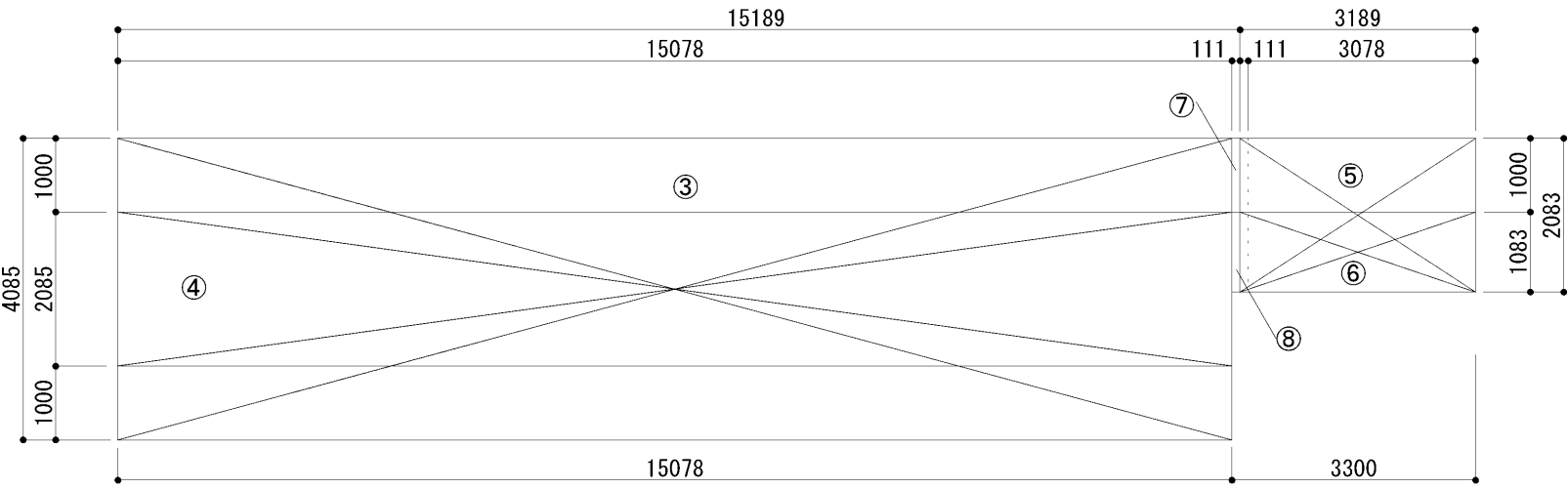
敷地求積図 1 : 100

- a 2.33 x 0.47 = 1.0951
- b 20.53 x 2.25 = 46.1925
- c 20.56 x 19.14 = 393.5184
- d 24.03 x 10.44 = 250.8723
- e 18.04 x 2.59 = 46.7236
- f 19.61 x 0.90 = 17.6490
- g 19.61 x 3.25 = 63.7325

倍面積 819.7834
面積 409.8917



6連棟駐輪場 求積図 1 : 100

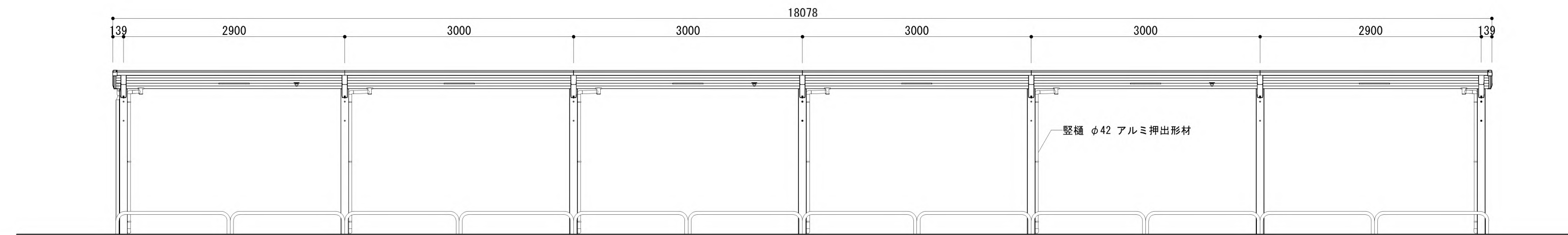


5連棟+単棟駐輪場 求積図 1 : 100

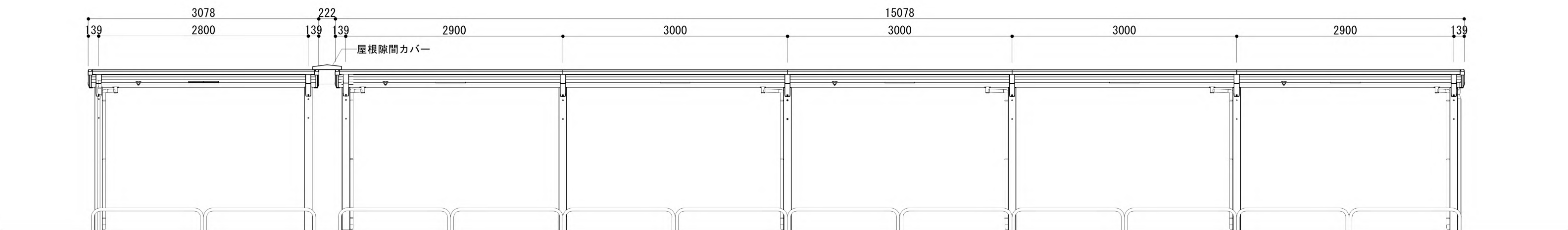
- ① 4.085 x 18.078 = 73.8486
- ② 2.085 x 18.078 = 37.6926
- ③ 4.085 x 15.078 = 61.5936
- ④ 2.085 x 15.078 = 31.4376
- ⑤ 2.083 x 3.189 = 6.6426
- ⑥ 1.083 x 3.189 = 3.4536
- ⑦ 1.000 x 0.111 = 0.1110
- ⑧ 1.083 x 0.111 = 0.1202

全体建築面積 ② + ④ + ⑥ + ⑧ = 72.7040
全体延床面積 ① + ③ + ⑤ + ⑦ + ⑧ = 142.3160
6連棟延床面積 ① = 73.84
5連棟延床面積 ③ + ⑦ + ⑧ = 61.82
単棟延床面積 ⑤ = 6.64
5連棟+単棟延床面積 61.82 + 6.64 = 68.46

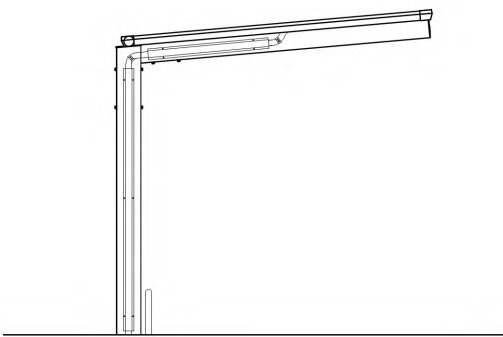
面 積 表	
□敷地面積	409.89㎡ (123.99坪)
□建築面積	
駐輪場	72.70㎡ (21.99坪)
□延べ床面積	
駐輪場	142.31㎡ (43.04坪)



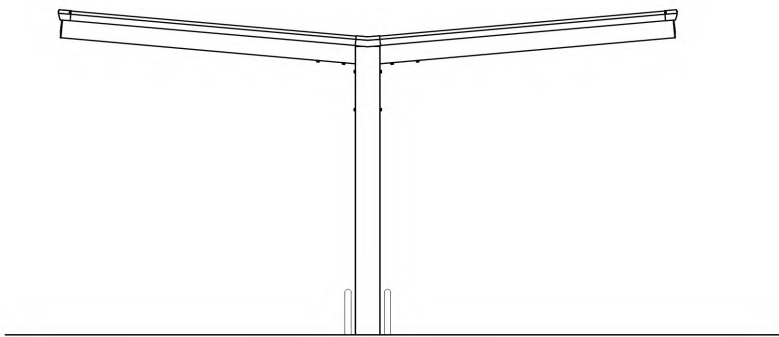
6 連棟 南面立面図 1 : 50
(北面もこれに準ずる)



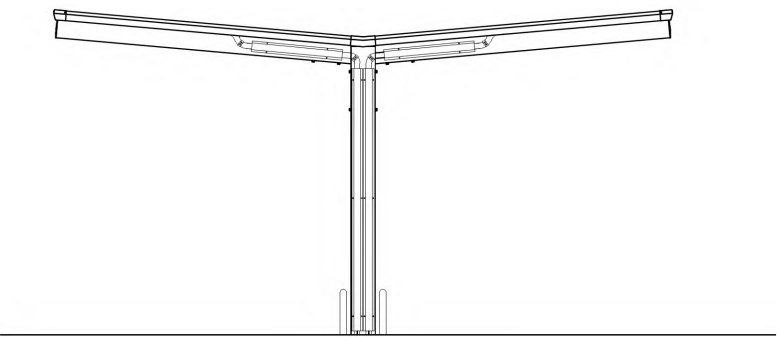
5 連棟+単棟 北面立面図 1 : 50
(南面もこれに準ずる)



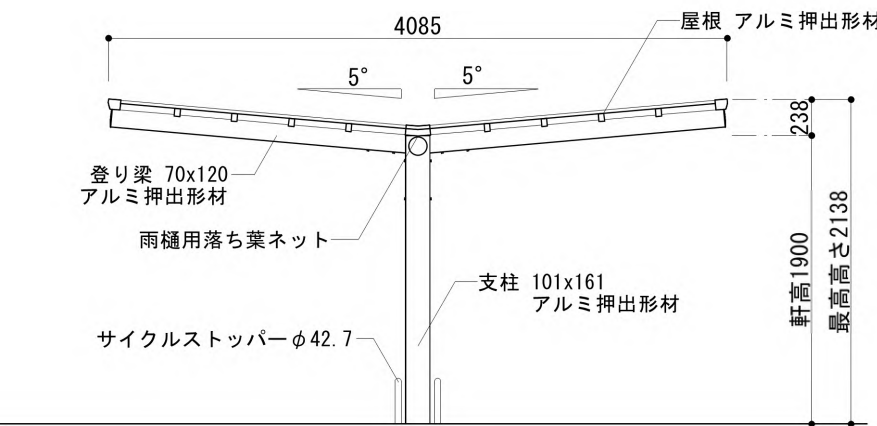
単棟 東面立面図 1 : 50



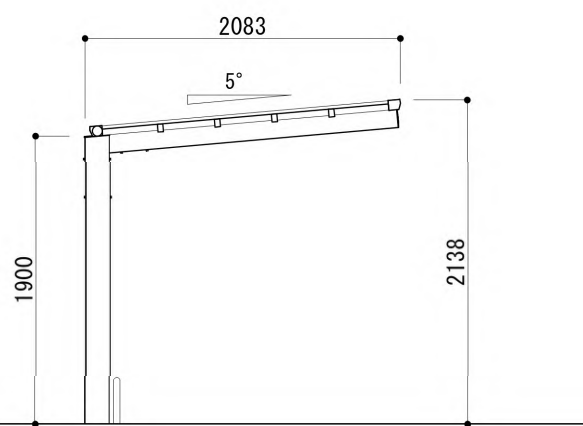
6連棟、5連棟 西面立面図 1 : 50



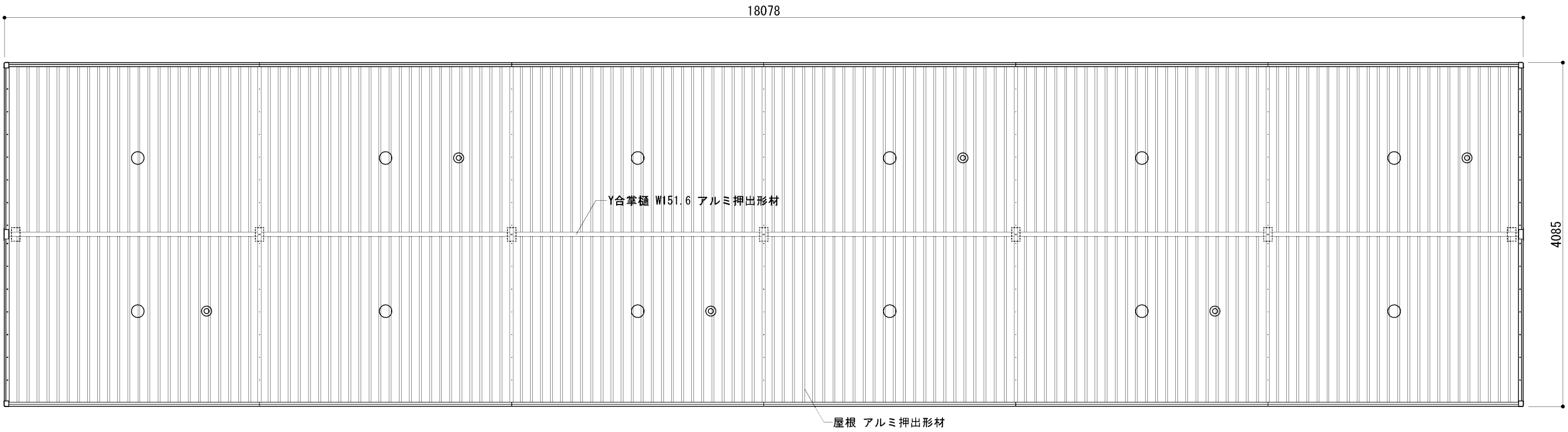
6連棟、5連棟 東面立面図 1 : 50



6連棟、5連棟 断面図 1 : 50

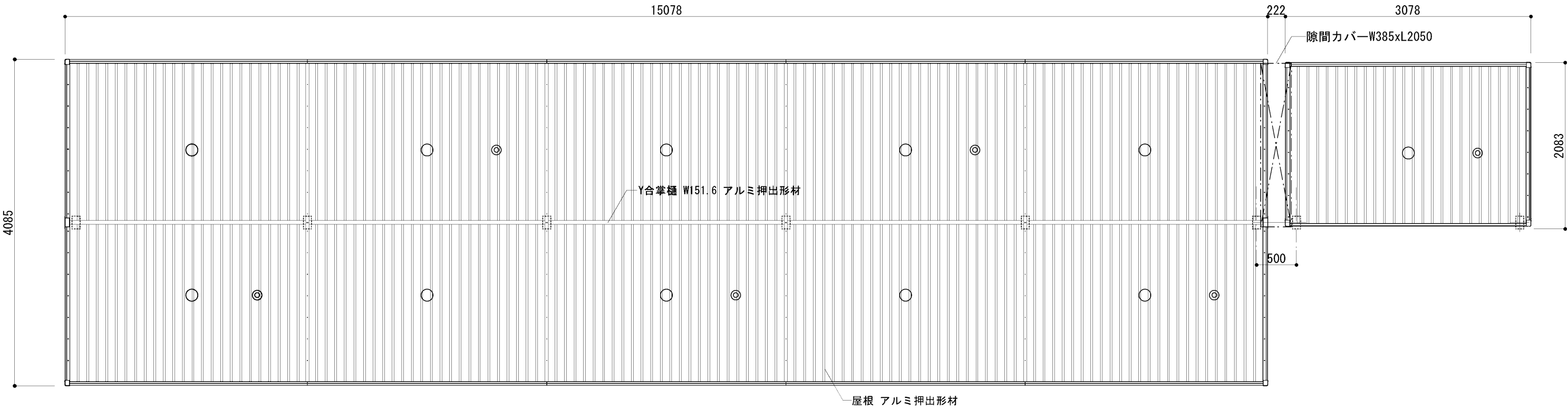


単棟 断面図 1 : 50

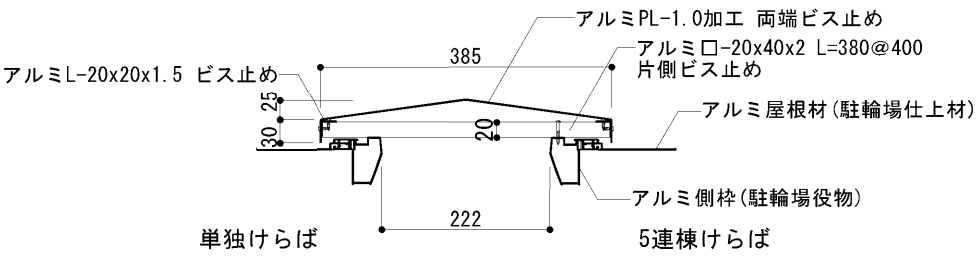


6連棟 屋根伏図 1 : 50

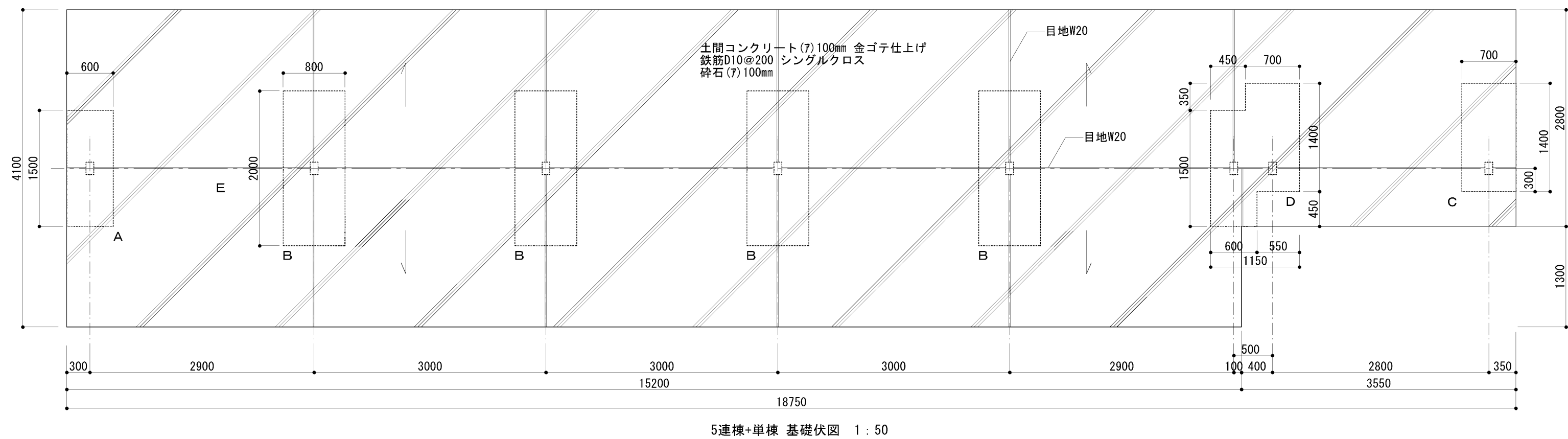
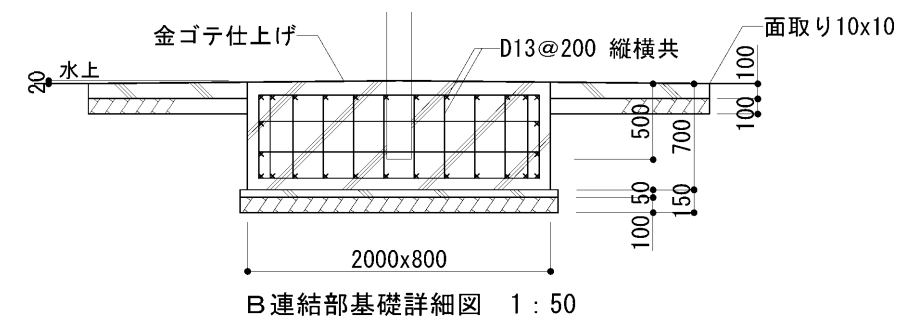
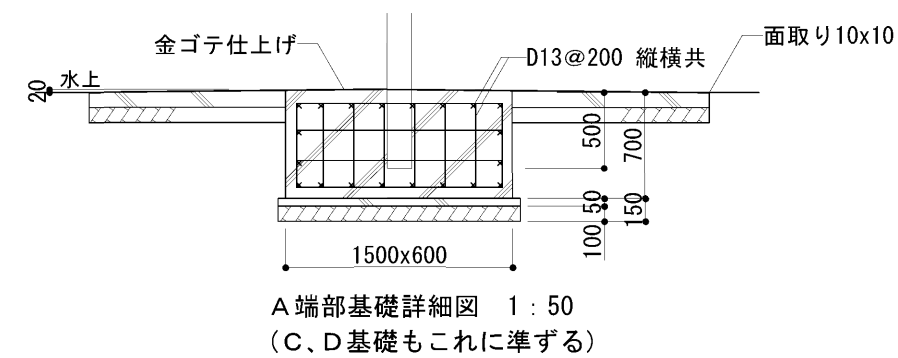
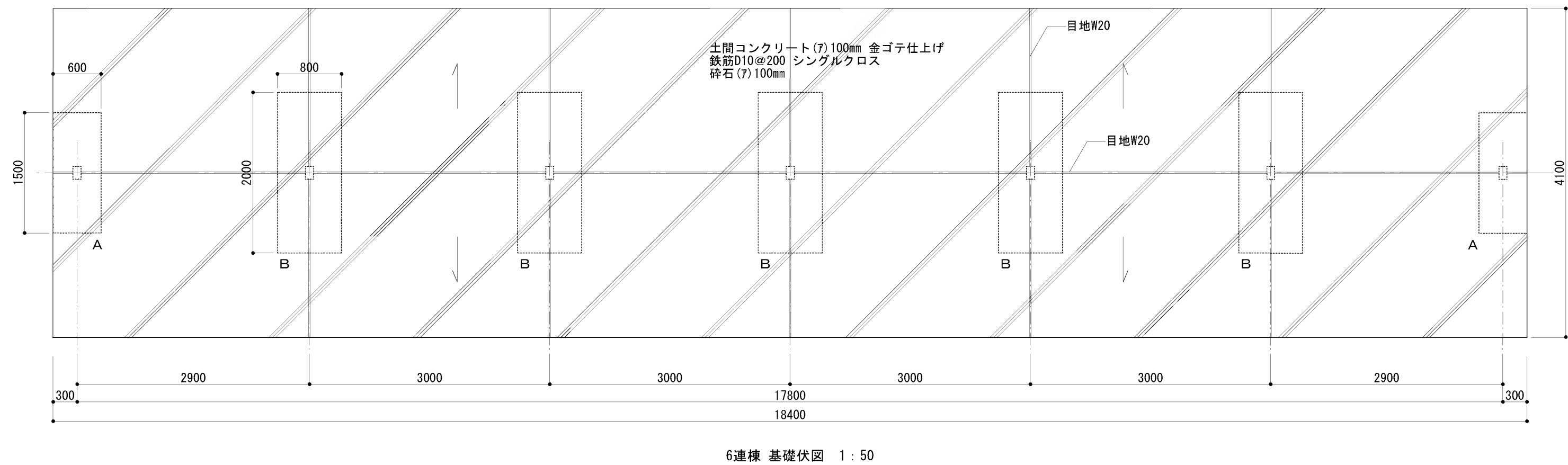
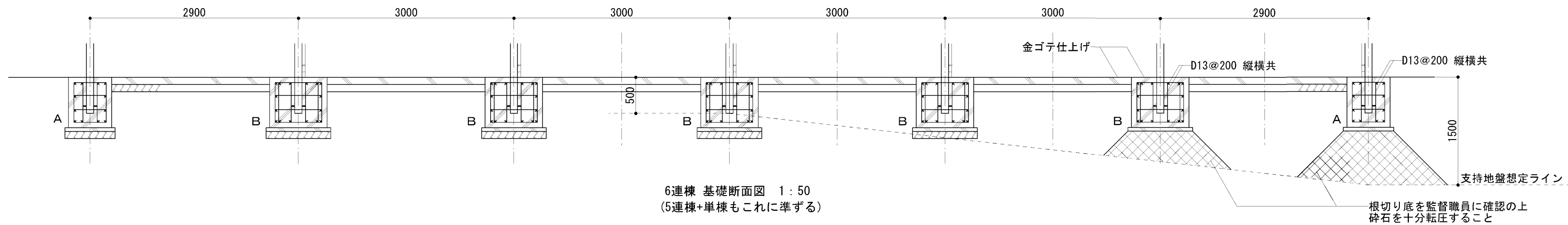
※○印 LED取付け位置
※◎印 人感センサー取付け位置

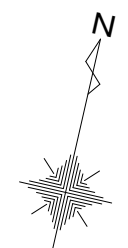
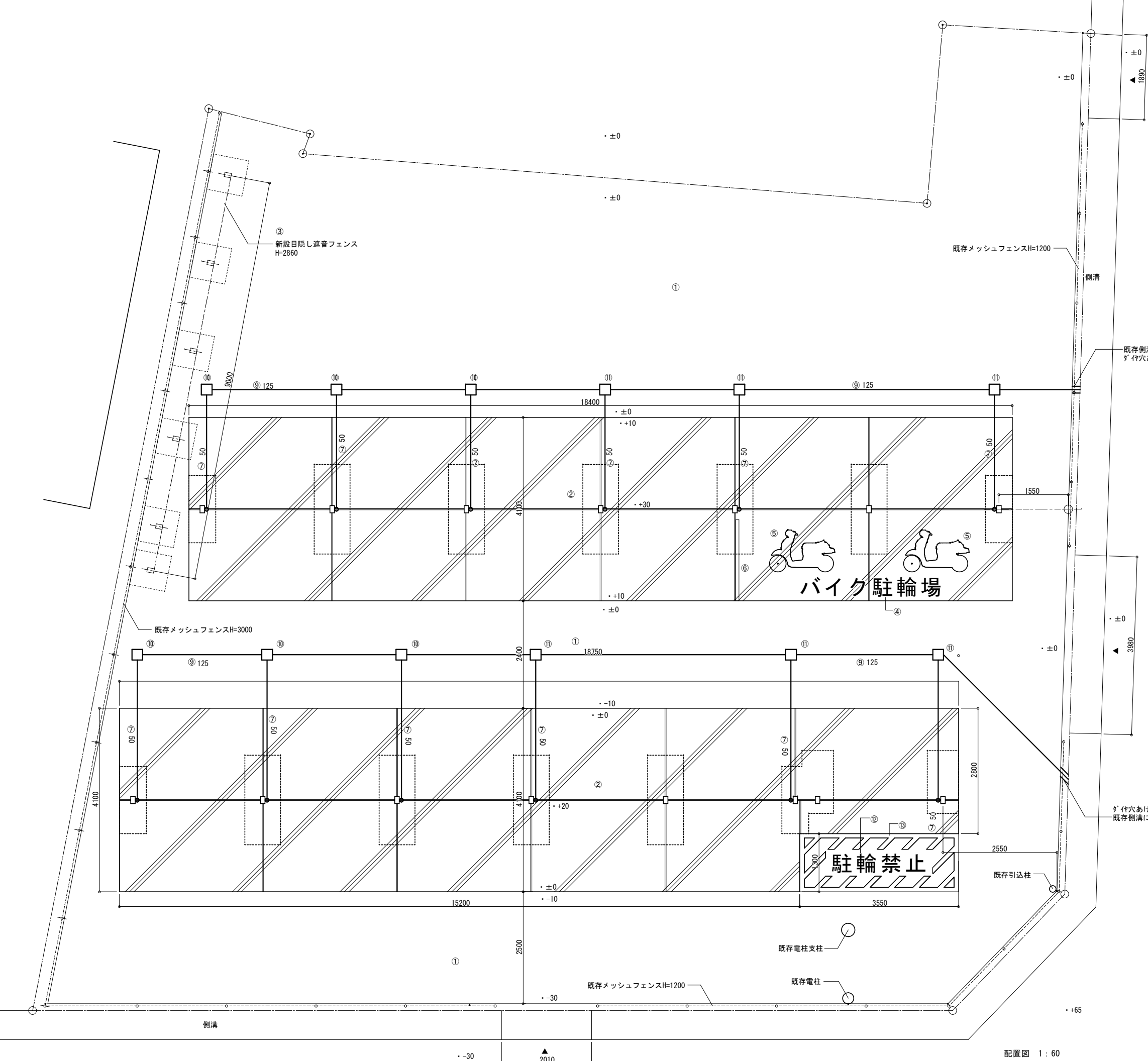


5連棟+単棟 屋根伏図 1 : 50



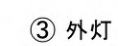
駐輪場屋根隙間カバー詳細図 1 : 10



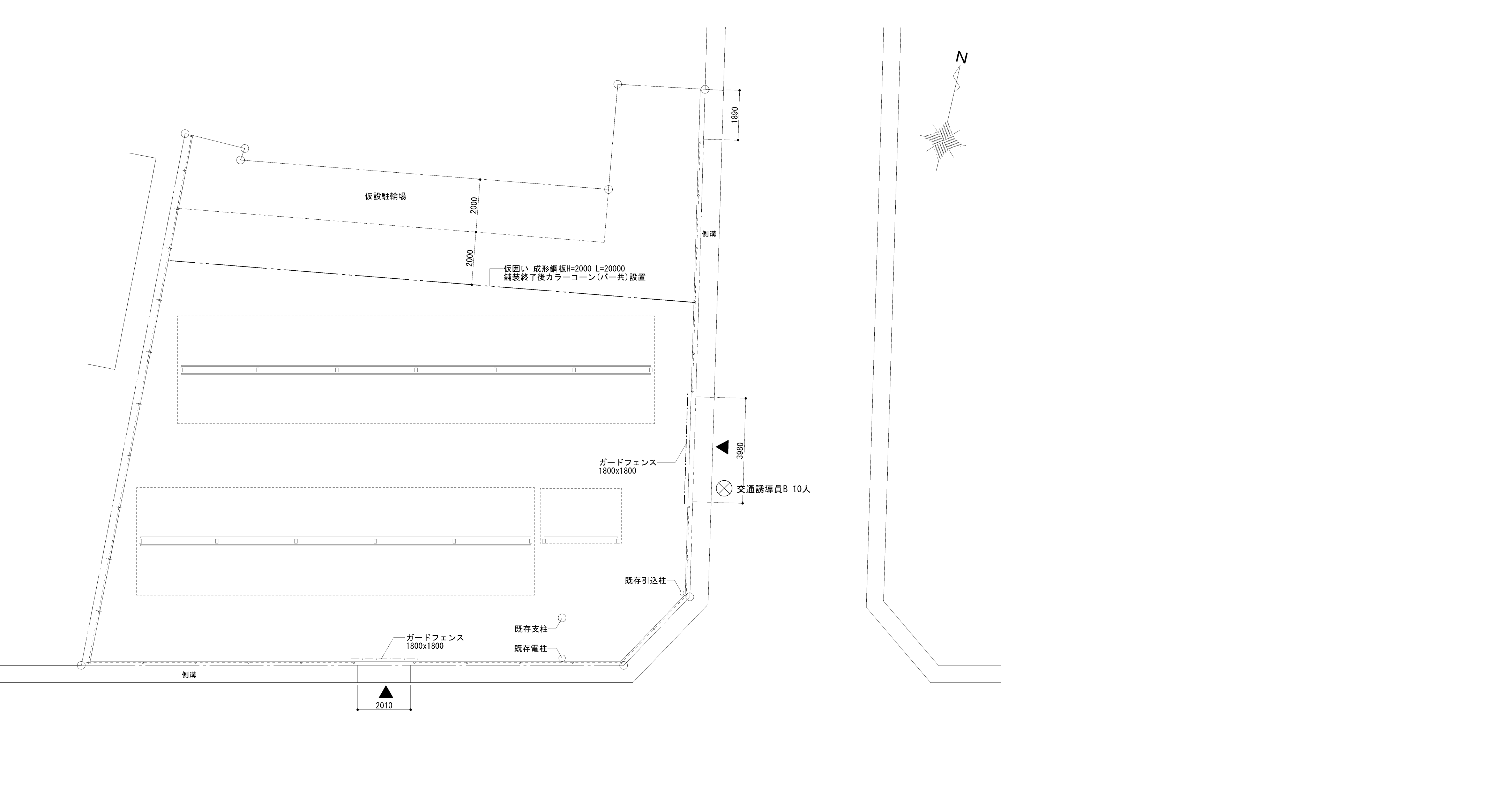


□外構仕上リスト			
番号	名 称	仕 様	数量
①	カラーアスファルト舗装	カラー舗装材 (7) 50mm 既存路盤不陸調整	249㎡
②	土間コンクリート	基礎伏図参照	148㎡
③	目かくし遮音フェンス	目かくし遮音フェンス シングルパネル H=2863 角パイプ柱 基礎800x800x1100	9.0m
④	駐輪場文字	450x450程度 6文字 DP塗装 コンクリート下地	1.0か所
⑤	バイクサイン	バイクサインW950xL1450 巾70mm程度 DP塗装 コンクリート下地	2.0か所
⑥	ライン引き	巾100mm DP塗装 コンクリート下地	1.8m
⑦	雨水排水管A	VP50	33.9m
⑨	雨水排水管C	VP125	41.3m
⑩	雨水樹A	300□ 9-14-1 (建築工事標準詳細図) 参照 鋳鉄製格子蓋 (チェーン付) に取替	6.0か所
⑪	雨水樹B	360□ 9-14-1 (建築工事標準詳細図) 参照 鋳鉄製格子蓋 (チェーン付) に取替	6.0か所
⑫	駐輪禁止文字	450x450程度 4文字 溶融式	1.0か所
⑬	線引き (ゼブラ)	巾100mm 溶融式	15.4m

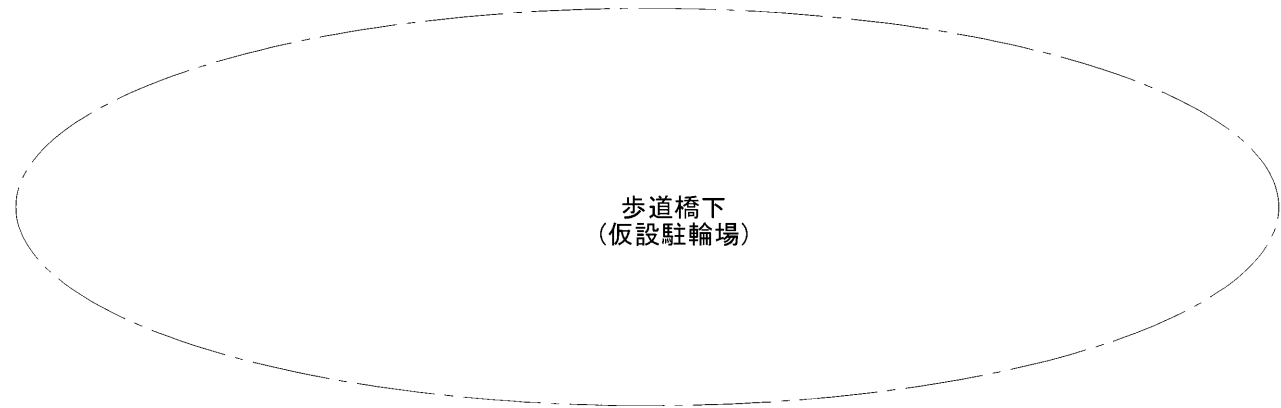
配置図 1 : 60



※ H=高さ(m) x C=幹周(m) x W=枝張(m)



配置図 1 : 100



※ 仮設駐輪場用に歩道橋廻りのガードパイプ3か所の各1スパンを撤去し駐輪場完成後復旧する。
撤去箇所は現地打合せの上決定する。

GeoSign

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 F _{5w} (kN)	半回転 転数 N _a (回)	1m当り 半回転数 N _w (回)	記 事		荷重 F _{5w} (kN)	貫入量1m当り 半回転数 N _w	推 定 柱状図	推定 水位 (m)	換算 N値 (回)	換算 q _a (kN/m ²)
					音・感触	貫入状況						
0.25	25	0.05	自沈	0			25 50 75 50 100 150 200 250				0.1	1
0.50	25	1.00	52.0	208	ジャリジャリ						15.9	120
0.75	25	1.00	36.0	144	ジャリジャリ						11.6	116
1.00	25	1.00	5.0	20							4.0	42
1.25	25	1.00	1.0	4							3.2	32
1.50	25	1.00	12.0	48	ジャリジャリ						5.2	58
1.75	25	1.00	74.0	296	ジャリジャリ	強打撃貫入					20.0	120
1.92	17	1.00	115.0	676	ガリガリ	強打撃貫入					20.0	120

※ 太枠内のデータが電子認証対象となります。

GeoSign

[illegible]

※ 太枠内のデータが電子認証対象となります。

買入 深さ D (m)	買入量 L (cm)	荷重 F ₅₀ (kN)	半回 転数 N _a (回)	1m当り 半回転数 N ₅₀ (回)	記 事		荷重 F ₅₀ (kN)	買入量1m当り 半回転数 N ₅₀	推 定 柱状図	推定 水位 (m)	換算 N値 (回)	換算 q _a (kN/m ²)
					音・感触	買入状況						
0.25	25	0.05	自沈	0			25 50 75	50 100 150 200 250			0.1	1
0.50	25	1.00	49.0	196	ジャリジャリ						15.1	120
0.75	25	1.00	1.0	4							2.2	32
1.00	25	1.00	自沈	0							3.0	30
1.25	25	1.00	自沈	0	無回転急速						3.0	30
1.47	22	131.0	595	ガリガリ	強打撃買入					20.0	120	

※ 太枠内のデータが電子認証対象となります。

特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所

高知県南国市幸町一丁目541番2、541番8、542番1

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令別表第一
自転車駐輪場	アルミ押出形材	平屋建	142.31㎡	
		階建	㎡	
		階建	㎡	

(注) 延べ面積は建築基準法による表記

3. 工事種目

建物別及び屋外工事種目	駐輪場			
電灯設備				
動力設備				
受変電設備				
自家発電設備				
避雷設備				
非常灯設備				
構内交換設備				
インターホン設備				
テレビ共聴設備				
電気時計設備				
放送設備				
誘導灯設備				
トイレ呼出表示設備				
火災報知設備				
外灯設備	○			
構内線路				

Ⅱ 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版（ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版）及び電気設備工事標準図（令和7年版）による。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2) 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

⑧ 電線類

⑨ 呼び線

10 フラッシュプレートの材質

11 か' - プレート の用途別表示

⑫ 接地極

⑬ 埋設表示

14 再使用機器

⑮ 絶縁抵抗の測定

⑯ 補修など

⑰ 屋上・屋側の支持金物

⑱ 結露防止

19 はつり・非破壊検査

20 天井仕上区分

⑲ 配線器具

⑳ L E D 照明器具

㉑ 照明器具の接地

24 照明器具用位置ボックス

㉕ 一般照明器具の照度測定

26 非常用照明器具の照度測定

27 分電盤分岐回路

28 テレビ共同受信設備

㉙ 構内埋設線路

⑳ 執務並行改修の単価の適用

㉑ 耐震施工

EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。

耐火ケーブル (FP) 及び耐熱ケーブル (HP) はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。

長さ1 m 以上の入線しない電線管には1.2mm 以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

・樹脂製 ・新金属 ・ステンレス

シール等を貼付する。

下記による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
共同接地	E A E D	10 Ω 以下	E B (14 φ) x 3連-2組
A 種	E A	10 Ω 以下	E B (14 φ) x 3連-2組
B 種	E B	150/Is Ω Is=1線地絡電流	E B (14 φ) x 3連-2組
D 種	E D	100 Ω 以下	E B (10 φ) x 1
C 種	E C	10 Ω 以下	E B (14 φ) x 3連-2組
避雷用	E L	10 Ω 以下	E P x 1
高圧避雷用	E L H	10 Ω 以下	E B (14 φ) x3 連-2組

避雷設備用及び共同接地極の表示 黄銅板製

上記以外の接地極及び地中配線の表示 100φ x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。

取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付を行う。

工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。

工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。

ステンレス製とする。（装柱金物は除く）

内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。

既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行い、施工前に工事監理業務受注者もしくは県建築担当による確認後、施工すること。なお、鉄筋・配管類を切断する恐れがある場合は、事前に監督職員と協議すること。コア抜き施工後は鉄筋切断の有無を工事監理業務受注者もしくは県の担当の立会により確認すること。

（室名）はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。

タンブラスイッチは大角型運用形とする。

壁付コンセントは原則として大角型運用形とし、運用形以外はプラグ付とする。

単相200 V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。

グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準適合品とする。

ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。

ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。

ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電流15 A 以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。

照明器具の改修前と改修後に照度を測定する事とし、測定表を監督職員に提出する。

測定箇所については監督職員と協議を行う事。

設置した各部屋2箇所以上

分岐用配線用遮断機はJIS協約形 2 P 5 0 A F の1 P サイズとする。

分岐器、分配器、直列ユニットはB S ・ C S 共用形 (B L 品) とする。 ・ 双方向型

電界強度の測定 ・ 要 ・ 不要

埋設深さ 特記なきはG L ー 600 以上とする。

地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。

地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。

本工事は執務並行改修として積算に用いる単価の補正を行っている。

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2 0 1 4 年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。

なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。

1) 設計用水平地震力

機器の重量 [N] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

【設計用標準水平震度】	特定の施設	一般の施設			
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 塔屋及び屋上	機器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水槽類（※1）	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中間階	機器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水槽類（※1）	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
地下及び1階	機器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水槽類（※1）	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階2. 0 とする。

【備考】（※1）水槽類には燃料小出タンクを含む。

注：上層階の定義は次による。

2 ～ 6 階建の場合は最上階、7 ～ 9 階建の場合は上層2 階、1 0 ～ 1 2 階建の場合は上層3 階

1 3 階建以上の場合は上層4 階

重要機器（ ・ 自立配電盤 ・ 発電装置（防災用） ・ 直流電源装置 ）

（ ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換装置 ・ 自動火災報知受信機 ）

（ ・ 中央監視制御装置 ・ ・ ）

2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の2分の1とし、水平地震力と同時に働くものとする。

32 コンクリート工事／骨材

33 ハンドホール

③4 工事・完成写真

③5 工事完成図

③6 石綿含有建材の調査

本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。

ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。

写真の撮り方は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（平成28年版による 工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版）による。

下記のことを監督職員に提出する。

区分	提出形式	備考
工事写真	A 4 版カラー印刷 画像データ (JPEG形式) ※上記両方を提出	A 4 版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
完成写真	A 4 版カラー印刷 画像データ (JPEG形式) ※上記両方を提出	A 4 版カラー印刷には、写真内容説明を記入。 外観1枚を含む内外6枚程度。 完成検査時に提出。

共通仕様書に従った完成図及び保守に関する指導案内書を監督職員に提出する。

A 4 版 黒表紙金文字製本 1 部 ※要 ・ 不要

A 3 版 2 ツ折り製本 1 部 ※要 ・ 不要

C A D データ C D - R ※要 ・ 不要

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

事前調査は書面調査、現地調査にて行う事とし、調査の結果により分析による石綿含有調査を行うか監督職員と協議を行う。

石綿含有建材の設計時調査（情報提供） ・ 有 ・ 無

37 機器取付高

名称	測点	取付高 (mm)	名称	測点	取付高 (mm)
ブラケット（一般）	床上～中心	2, 100	避雷接地用端子箱	地上、床下～中心	800
” （踊場）	”	2, 500	接地極埋設標	地上～中心	600
” （鏡上）	鏡上端～中心	150	室内端子盤（廊下、室内）	床下～下端	300
避難口誘導灯	床下～下端	1, 500以上	接地用端子箱	床下～下端	500
廊下通路誘導灯	床下～上端	1, 000以下	子時計、スピーカ	床下～中心	（天井高）x0. 9
スイッチ（一般）、アッテネータ	床下～中心	1, 300	呼出ボタン（身体障害者用）	”	900
スイッチ、インターホン機（身体障害者用）	”	1, 100	復帰ボタン（ ” ）	”	1, 800
コンセント、電話用Alet、直列ユニット（一般）	”	300	廊下表示灯（ ” ）	”	2, 000
” （和室）	”	150	テレビ機器収容箱	”	1, 800
” （台所）	台上～中心	150	火報受信機（複合盤）	床下～操作部	800～1, 500
コンセント（ガス漏れ検知器 (LPガス)）	床下～中心	200	火報総合盤	床下～中心	800～1, 500
分電盤、制御盤、親時計	”	1, 500 （上端1, 900以下）	コンセント（車庫）	床下～中心	800
開閉器箱、中間端子盤（EPS、電気室）	”	1, 500	ガス漏れ検知器（L P ガス）	床下～警報器上端	300
インターホン、副受信機			” （都市ガス）	天井面～中心	（天井面）-200
			引込開閉器箱（低圧）	床下～上端	2, 000

備考 （天井高）x0. 9は天井高が、2, 500～3, 000mmの場合に適用する。

38 室内空気汚染
（揮発性有機化合物）対策

対象建築材料等	使用制限
① 合板、木質系フローリング 構造用パネル、集成材 単板積層材、M D F パーティクルボード、ユリア樹脂板 壁紙、緩衝材、断熱材 保温材、仕上げ塗材	F ☆ ☆ ☆ ☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エテルベンゲンを含有していない水性系のものとする。
③ 木材保存剤 （防蟻処理、防蟻処理等）	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノプカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤、木工用接着剤 配管用接着剤、接合剤	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする。 2)フタル酸ジ- n -ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	（①②③④）の建築材料を使用する場合はF ☆ ☆ ☆ ☆を基本とし、該当する材料がない場合はF ☆ ☆ ☆ ☆又は同等品を使用する。）
室内に関わる材料（上記①～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ- n -ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノプカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。	

後免駅北駐輪場整備工事

電気設備図

特記仕様書

scale
no、scale
（ A3：70% 縮小 ）

drawn by

date

一級建築士事務所登録 第1056号
一級建築士登録 第 2 4 3 8 1 9 号
岩 貞 恵 明

i S 設計事務所
OFFICE/南門市安崎884番地
TEL 090-964-6848

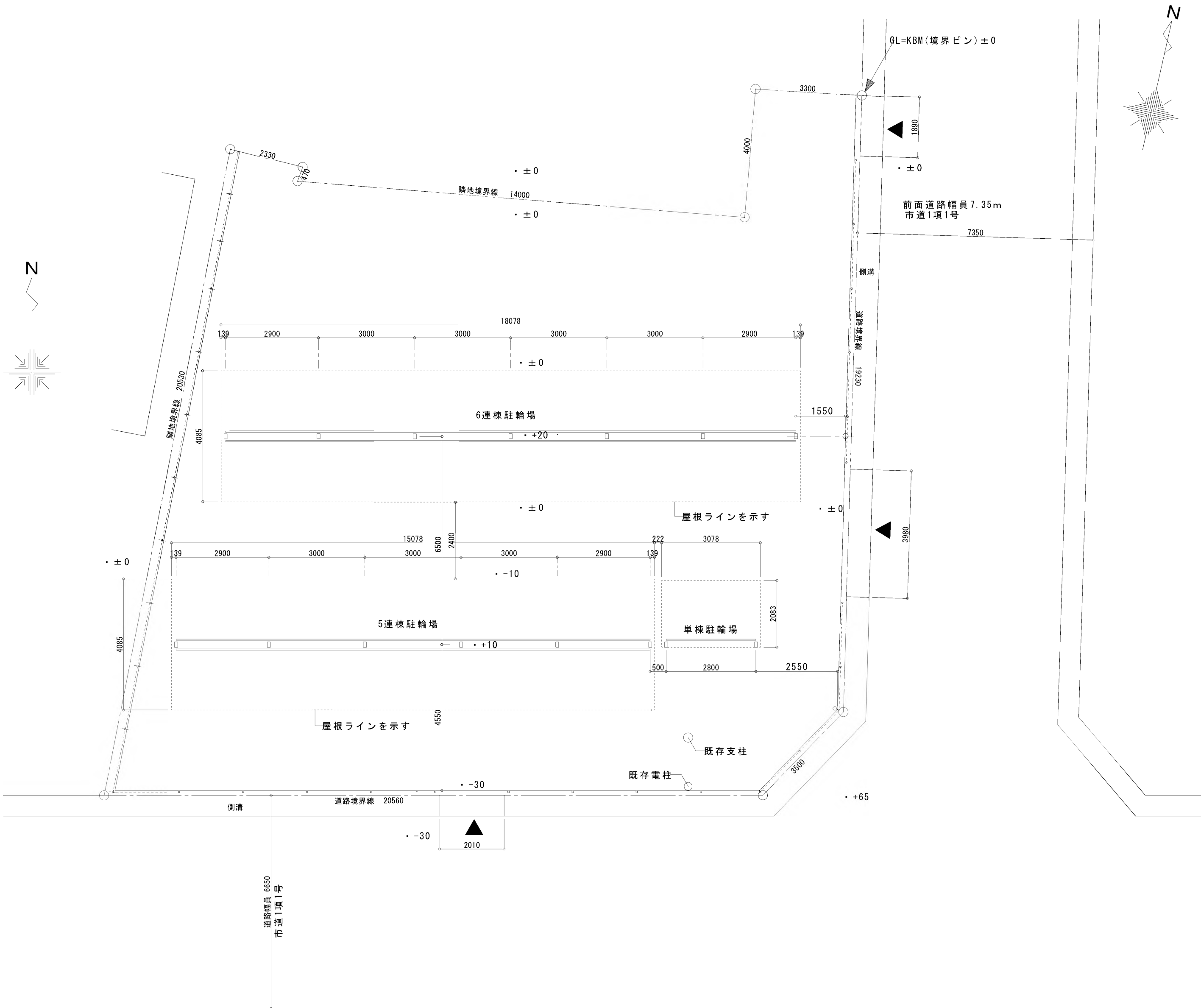
sheet no.
E-01

機材名	指定品	機材名	指定品	機材名	メーカー名	機材名	メーカー名	機材名	メーカー名
電線管類・同付属品	J I S マーク表示品			LED照明器具	アイリスオーヤマ（株） 岩 崎 電 気（株） （株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）	蓄電池 ﾊﾞｯﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池 ※３ 据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池除く	エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ※３ 古河電池（株）		
電線類等	国土交通省大臣官庁官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書（電気設備工事編） J I S マーク表示品			照明制御装置	東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株）	監視カメラ装置	（株）JVCケンウッド・公共産業システム T O A（株） ﾊﾞﾅﾈｯｸｺﾈｸﾄ（株）		
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの			可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）安川電機				
配線器具類	J I S マーク表示品					盤類（公共建築工事標準仕様） 分電盤・制御盤 キュービクル式配電盤 ※４ 筐体製作を含まない改修に限る （高圧盤を除く）	（株）イトウテック 共 栄 電 機 工 業（株） 光 電 設（株） 森 澤 電 設（株）※４ 上記の他、令和７年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評 価名簿」に掲載されたもの		
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧交流遮断機（真空）	（株）東芝 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎	太陽光発電装置	山洋電気（株） （株）GSユアサ （株）東芝 パナソニック（株） （株）安川電機		
電磁接触器 JIS C 8201-1、JIS C 8201-4-1 に 適合するもの	J I S マーク表示品			高圧限流ヒューズ	（株）宇都宮電機製作所 エナジーサポート（株） （株）東芝 （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）				
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧負荷開閉器	エナジーサポート（株） 大垣電機（株） （株）新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株）	交流無停電電源装置（UPS）	エナジーウィズ株式会社 山洋電気（株） （株）GSユアサ （株）東芝 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） （株）明電舎		
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）	J I S マーク表示品								
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会 の J I L 適合マークが貼付 されたもの			高圧進相コンデンサ	（株）指月電機製作所 （株）東芝 ニ チ コ ン（株） 日 新 電 機（株） 三 菱 電 機（株） ※１ モールドコンデンサに限る				
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの								
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの			高圧用変圧器	愛知電機（株） 四 菱 テ ッ ク（株） （株）ダイヘン タカオカ化成工業（株）※２ （株）東 光 高 岳 （株）東芝 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎 ※２ モールド変圧器に限る				
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの								
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの								
非常放送装置の蓄電池	J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの								
非常警報装置（非常ベル）	日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの								
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの								
構内交換装置	（財）電気通信端末機器 審査協会の認定品								



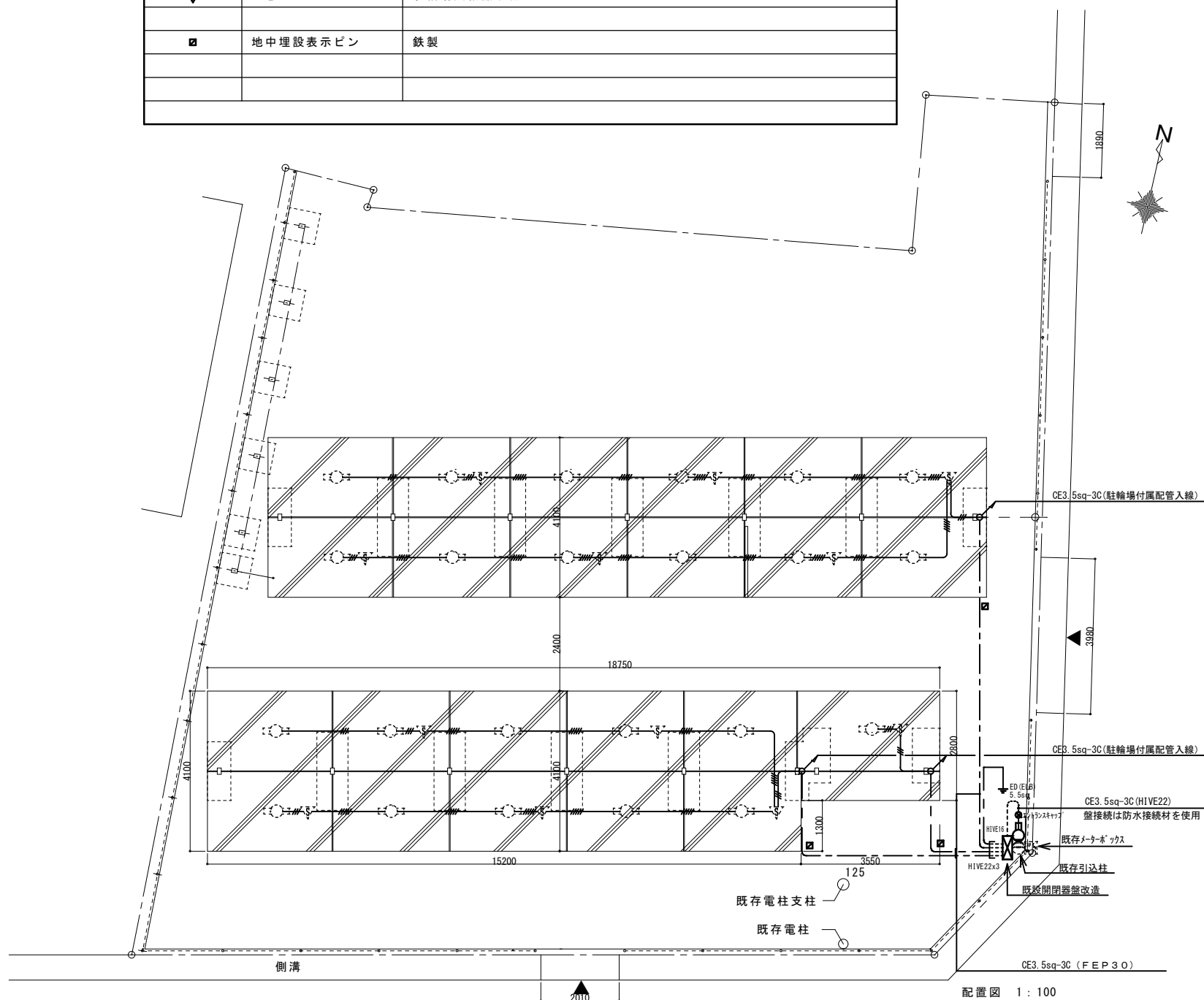
付近見取図

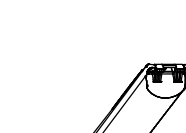
工事概要
1・新設駐輪場に伴う電気設備工事
既設開閉器盤内漏電ブレーカの更新
新設駐輪場へ電源供給
防犯灯の設置
注記事項
※ 1 既設ポール灯及び既設配線、地中配管撤去は建築工事とする。
※ 2 新設駐輪場照明器具、人感センサーは駐輪場付属品とする。

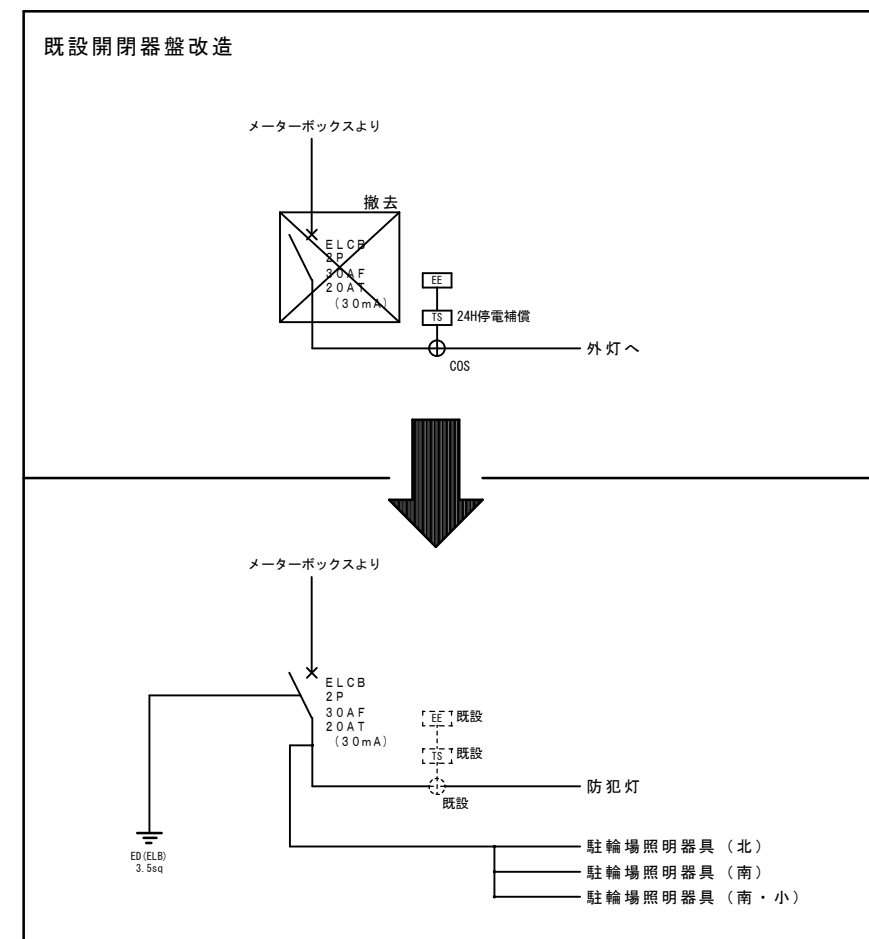


配置図・平面図 1：100

凡 例		
	メーターボックス	樹脂製 既設
	開閉器盤	盤結線図参照
	照明器具	LED20W-1タイプ 駐輪場支給品取付
	人感センサー	駐輪場支給品取付
	地中埋設表示ビン	鉄製



	防犯灯	LBFRP-10	既設鋼管ポール取付
LED内蔵、電源ユニット内蔵、防まつ型、明るさセンサなし、明光色 光束1070lm、消費電力9W、電圧100V 暖白色、5500K、Ra80、光束維持時間6000時間（光束維持率80%） 本体：ASA樹脂（クールホワイト） 前面パネル：アクリル 保護等級：IP44、需サージ15kV 電力会社申請入力容量9.2VA  1台			



注意事項		
図中明記なき配管記号は下記による		
---//---	C E 2 s q - 3 C	(駐輪場鋼材内入線)
---//---	C E 2 s q - 3 C + 2 C	(駐輪場鋼材内入線)